

当社は、独自の特許技術を基に革新的なPOCT *診断ツールを提供しています。
(Point Of Care Testing : 臨床迅速検査)

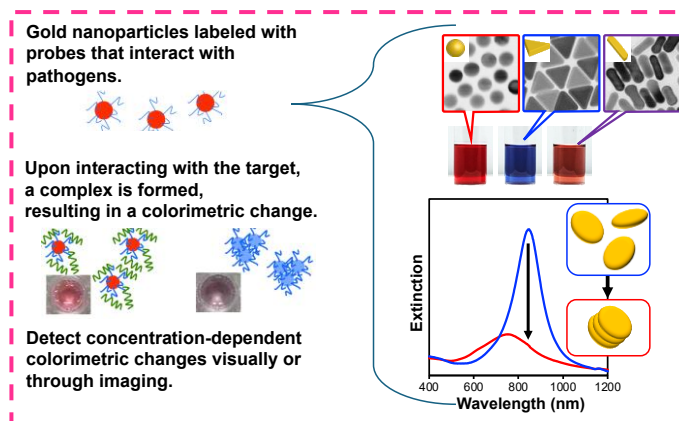
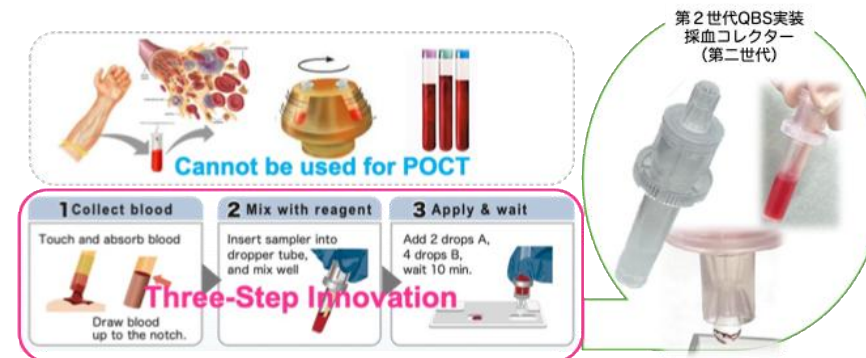
① 微量血液対応血漿分離技術 Quick Blood Separator (QBS)

これまで血液成分の分離には遠心分離機が必要でしたが、「Quick Blood Separator」は指先から採取したごくわずかな血液（25 μ L）で、特殊な機器を使わず瞬時に成分を分離することが可能です。

特許技術：特許第6366025号、特願2025-060856

受賞：特許庁長官賞、ものづくり日本大賞 優秀賞

導入実績：国内400店舗以上の薬局チェーンに導入され、年間5万件以上の検査実績があります。



② 金ナノ粒子プローブ技術 Gold Nanoparticle Probe Technology

従来の簡易診断法（ラテラルフロー法）では、単純な陽性・陰性の判定のみでしたが、本技術は濃度に応じて色調が変化する金ナノ粒子の物理的な原理により、感染症や免疫疾患マーカーの定量測定が可能になりました。さらに、標識プローブとして核酸を用いることができるため、PCRを使わずに、簡単に核酸や遺伝子を検出することを実現しています。

特許技術：特許第7606183号

共同研究：北海道大学大学院工学研究院（佐藤 久 教授）

実用化：免疫生化学POCT 4項目（薬事申請中・2025年リリース予定）

遺伝子核酸検査システム（2026年リリース予定）

③ 医工融合による次世代診断プラットフォーム

セルスペクトは、この2つの革新的な技術を融合させ、感染症、免疫疾患、生化学疾患を含めて200項目以上の診断を、いつでもどこでも簡単にできる次世代診断プラットフォームを実現しました。在宅医療、遠隔医療、医療インフラが整わない地域、さらには災害時や宇宙環境といった特殊な状況でも活用できるため、医療の地域格差をなくし、誰もが適切な診断を受けられる社会を実現します。

